カッセキ

Aluminum Silicate Hydrate with Silicon Dioxide

KASSEKI

滑石，軟滑石

本品は鉱物であり，主として含水ケイ酸アルミニウム及び二酸化ケイ素からなる．

本品は鉱物学上の滑石とは異なる．

生薬の性状　本品は白色～淡紅色の粉末性の結晶塊で，砕くと容易に微細な粉末となる．粉末はややざらつき，皮膚につきやすい．本品の粉末を水で潤すとき，やや暗色を帯び，可塑性となる．

本品は特異なにおいがあり，味はほとんどない．かめば細かい砂をかむような感じがある．

本品の粉末を封入剤とともにスライドガラスとカバーガラスの間で十分にすりつぶしたものを鏡検〈*5.01*〉するとき，円形～多角形を呈する径 10 μm 以上の結晶を多く認める．

確認試験　本品の粉末 0.5 g に薄めた硫酸（1 → 3）3 mL を加え，白煙が生じるまで加熱し，冷後，水 20 mL を加えてろ過する．ろ液にアンモニア試液を加えて弱酸性とした液は，アルミニウム塩の定性反応〈*1.09*〉の（１），（２）及び（４）を呈する．

純度試験

（**1**）　重金属〈*1.07*〉　本品 1.5 g に水 50 mL 及び塩酸 5 mL を加え，20 分間よく振り混ぜながら穏やかに煮沸し，冷後，遠心分離し，上澄液をとり，沈殿を水 10 mL ずつで 2 回洗い，毎回遠心分離し，上澄液及び洗液を合わせ，アンモニア水（28）を滴加し，沈殿がわずかに析出したとき，強く振り動かしながら希塩酸を滴加して再び溶かす．この液に塩酸ヒドロキシアンモニウム 0.45 g を加えて加熱し，冷後，酢酸ナトリウム三水和物 0.45 g，希酢酸 6 mL 及び水を加えて 150 mL とする．この液 50 mL をとり，これを検液とし，試験を行う．比較液は鉛標準液 2.0 mL に塩酸ヒドロキシアンモニウム 0.15 g，酢酸ナトリウム三水和物 0.15 g，希酢酸 2 mL 及び水を加えて 50 mL とする（40 ppm 以下）．

（**2**）　ヒ素〈*1.11*〉　本品 1.0 g に希塩酸 5 mL を加え，よく振り混ぜながら沸騰するまで穏やかに加熱し，速やかに冷却した後，遠心分離する．残留物に希塩酸 5 mL を加えてよく振り混ぜ，遠心分離する．更に水 10 mL を加え，同様に操作し，全抽出液を合わせ，水浴上で加熱濃縮して 5 mL とする．これを検液とし，試験を行う（2 ppm 以下）．

貯　法　容　　器　密閉容器.